

伊那北地域活性化センターアトリウムホール改修ほか工事実施設計業務委託
プロポーザル評価基準

1 評価方法

本公募の業者選定方法は、提案内容と見積金額の両方を評価対象とする総合評価方式とします。評価審査基準については以下を参考としてください。なお、調達仕様書の要求項目で実現できない項目があってもかまいません（該当部分の配点が0査定となるのみ。）ので、そのような項目がある場合はその旨を提案書に明記するようお願いします。

※書類による一次選考がある場合は、提出された提案書と見積書をもとに、本評価基準に沿って採点を行う予定です。

2 配点について

800点満点（各審査員は160点保持し、5人で合計800点）とします。

5人の審査員は後述の評価配点により評価を行います。審査員は各項目の配点を上限として調達仕様書に記載されている内容の実現度等をもとに採点します。

3 提案内容の評価点配点項目（160×5=800点満点）

各項目の配点を上限として、審査員ごとに査定を行い、合算します。

4 判定方法

前述の評価点の合計点数が一番高い事業者を、第一優先交渉先とします。1位の事業者が同点で複数となった場合は、審査会で協議の上、第一優先交渉先を決定します。

5 評価基準

本事業に対する理解(20)		配点
	本事業の背景や目的を理解し、基本的な方針をふまえた提案となっているか	10
	伊那市の意に沿った実現可能な提案となっているか	10
提案内容（事業目的の達成が可能な提案となっているか）（75）		
①	見つかる・ワクワクが高まるサイクル	25
	若者に日常的に利用される工夫はあるか	5
	利用者が混ざり合う空間的要素や工夫はあるか（偶発性の創出）	5
	入ってみたいと思わせる動線設計ができているか	5
	新たな関心ややりたいことが喚起される空間デザインや備品配置に工夫はあるか	5
	挑戦につながる場としての機能提案はあるか（やりたいことの後押し）	5
②	やってみる・地域の魅力が育まれるサイクル	15
	スタッフと利用者が混ざり合う空間提案に工夫があるか	5
	活動の可視化・共有ができる環境設計に工夫があるか	5
	その場で試すことができる用途を限定しない「余白」の空間に工夫があるか	5
③	利用者と共に育つ空間、参加型・自分事化の設計（共に育つ未完成の空間）	10
	運営しながら要素を継ぎ足していけるカスタマイズ性に工夫があるか	5
	若者や地域の人に関わりしろを持てる具体案は実現可能か	5
④	その他独自テーマ	20
	独自テーマに具体性があるか	10
	工事費の範囲内で実施可能なテーマ内容か	10
工事全般(20)		
	本工事を行う際の施工方法（安全対策等）が示されているか	10
	提案のスケジュールが実現可能か（工程計画表がしっかりと示されているか）	10
維持管理(10)		
	耐用年数の長期化対策（材質・構造等）	5
	年度内に調達可能な使用材料の活用方針	5
安全配慮・バリアフリー対策(10)		
	拠点内での利用者の安全配慮	5
	多様な利用者のためのバリアフリー対策	5
配置提案(10)		
	利用者・運用の双方の視点に立った回遊性を考慮した配置提案	10
導入実績等(10)		
	本プロジェクト遂行に役立つと思われる類似案件の取組実績	10
プレゼンテーション等(10)		
	伊那市の提案に対し、真摯な提案がされているか	10
合計		160